

IAUD Newsletter vol.5 第6号 (2012年7月号) 目次

1. 特集：メディアのUD-PJ「色のUDフューチャーセッション」開催報告・・・1
2. ノルウェーUD関係者がIAUDを訪問・・・・・・・・・・・・・・5
3. IAUD 8月の予定・・・・・・・・・・・・・・6

多様な人々と対話する未来セッションを体感

特集：メディアのUD-PJ「色のUDフューチャーセッション」開催報告



メディアにおける「色」をテーマに活動を行っているメディアのUD-PJは、6月8日（金）に地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)セミナースペース（東京・渋谷）で、「色のUDフューチャーセッション～啓発からムーブメントへ」を開催しました。当日はPJメンバーも含め、31人が参加し、多様な人々と対話が行われ、多くの課題と解決へのアイデアが出されました。今回の様子を、同PJ副主査補佐の亀田和宏氏（大日本印刷株）に報告してもらっています。

開催までの経緯

メディアのUD-PJは2008年に活動を開始して以来、メディアにおける「色」をテーマに活動を続けてきました。登録メンバーは年々増加し、2012年6月現在、36名（23の企業・団体、賛助会員）を数えるようになりました。

2010年に浜松で開催された第3回国際会議では、カラーUDに配慮した配色イメージ・スケールの開発とその検証プロセスについて発表。さらに、2011年6月にはその内容を主とした自主セミナーをNTTデータ INFORIUM 豊洲イノベーションセンターで開催しました。

定例ミーティング（月1回）は、時にIAUDサロンから飛び出し（「遠征」と呼ぶ）、参加企業の施設見学や、話題の場所で行うこともあります。2011年8月には、カタリストBA（東京・二子玉川）で開催されたフューチャーセンター型イベントにPJメンバーと参加。これが発端となり、今回のフューチャーセッションを開催することになりました。

*日本では1回だけの対話イベントを「フューチャーセッション」、フューチャーセッションが恒常的に行われる「場・施設」を「フューチャーセンター」と呼んでいます。

フューチャーセンターの定義は「企業、政府、自治体などの組織が中長期的な課題の解決を目指し、様々な関係者を幅広く集め、対話を通じて新たなアイデアや問題の解決手段を見つけ出し、相互協力の下で実践するために設けられる施設」です。欧州が発祥ですが、日本でも採用する企業や研究機関が出始めています。

下図は私が作成したフューチャーセンターの原則と手法の資料です。ネットには多くの情報があるので、興味がある人は「フューチャーセンター」で検索されることをお勧めします。



フューチャーセンターとPJ活動

フューチャーセンターは、施設であることを除けばUDの実現プロセスそのものなので、PJ活動に活用できるのでは、と考えました。

ある意味で、研究部会はすでにフューチャーセンターとしての機能を有しています。一方、もっと多様な人々（ステークホルダー）と接点を持つ努力はしているのだろうか、短期的な成果に目を奪われていないか、課題解決に向けてたくさんの方の方法（シナリオ）を提示しているのだろうか、という「問い」も生まれてきました。

そんな時、日本で多くのフューチャーセンターを立ち上げるための「フューチャーセンターウィーク 2012(主催:フューチャーセンターネットワーク/協力:国際大学GLOCOM、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC))」が行われることを知りました。

早速、PJメンバーと、日常的な研究部会とは別に、「原点に帰ってもっと大きな活動（ムーブメント）にする」、「もっと社会を啓発する可能性を、多様なステークホルダーと対話する」ため、フューチャーセッションを企画することにしました。

※「フューチャーセンターウィーク 2012」 詳細は以下のリンクをご参照ください↓

<http://www.futuresession.net/>

色の UD フューチャーセッションを開催



今回は、「多様性への配慮が持続的な社会に貢献していくため、色の UD を発展させるには何が必要か」をテーマに、フューチャーセッションを開催しました。

当日は週末の夜にも係わらず、31 名の方が参加。PJ メンバーのほか、フューチャーセンターに興味を持つ人、色弱者の方など、多様な人々と時間を共有することができました。

まず、集まった人がお互いを深く理解するために、前述の「フューチャーセンター」の基本知識と、色の UD を実現するための我々の PJ 活動を説明しました。(上写真)

次にチェックインとして、「今日のニックネーム」、「好きな色」、「色に関する関心事」をお互いにインタビューしあいました。(右写真)



さらに、参加者がインスピレーションを得るために、メディアの UD-PJ 主査の伊賀氏（NPO 法人カラーユニバーサルデザイン機構）が、トップランナートークを実施しました。

休憩中には参加者に色の UD の世界を各種シミュレーターで体験してもらいました。(左写真)

参加者全員でのダイアログでは、前半は「自分の経験で『色』で困ったこと」を抽出。後半では、その課題を「解決する方法」について、メンバーが入れ替わるワールドカフェ方式で話し合いが行われました。(右写真)
PJ メンバーがファシリテータを務めた 5 つのグループができました。



課題の共有と今後の展開



ダイアログの成果を全員で共有するため、グループ毎にファシリテータが「課題」と「解決」を発表しました。(左写真) 参加者からは、買い物に関わること、仕事に関わること、表示に関わること、制作物に関わることなど、多くの課題と解決へのアイデアが出されました。最後に、今回のフューチャーセッションでの気づき、課題解決への取り組みを、IAUDの研究部会に参加して検討していくことを呼びかけ、参加者全員でお互いに拍手を送り合い、セッションを終えました。

わずか2時間ではありましたが、大切な「問い」に対し多様な人々が集まり、同じ目的と空間を共有することでなし合える「未来セッション」を体感できた気がします。この場を借りて、協力しあえたPJメンバーに感謝を、参加いただいた皆様に御礼申し上げます(拝)。

■メディアのUD-PJ 今年度の活動概要

① 定例ミーティング

次回開催日：8月3日(金) 14:30-17:30

原則は第1木曜日 14:30-17:30、於IAUDサロン

参加希望者は、事前に日程等を確認してください。

② 福岡国際会議でのアウトプット

・カラーUD 配色イメージ・スケールの精緻化：

2010年国際会議での発表内容(暫定版)を精緻化

・カラーUD グラデーションの研究・開発：

色弱者にも一般色覚者にも、ハザード情報が直感的に伝わる滑らかな色の変化に関する研究

ノルウェーUD関係者が IAUD を訪問



賛助会員の方から紹介と依頼を受け、7月4日(水)にノルウェーからUD視察で来日した2名がIAUDサロン(東京・八丁堀)を訪問しました。

IAUDからは移動空間PJと情報交流センターのメンバーが同席し、相互のUDへの取り組みや考え方について認識し合いました。その様子を情報交流センター所長の西村が報告します。

ノルウェーからの訪問者：

Christian Hellevang 氏 (写真右。地方公務員でUD福祉技術関係を担当。)

Tomas Nesheim 氏 (写真中央。車椅子利用者。大学教授で専門はUD。UD関連会社のマネージャーを兼務。 www.kolumbus.no)

IAUDからの出席者：

和田紀彦氏、加藤寛氏 (移動空間PJ)

君塚亮之氏、西村 (情報交流センター)

IAUD 訪問の経緯

Hellevang 氏と Nesheim 氏が訪日外国人へのバリアフリー旅行情報を提供する「特定非営利法人ジャパン・アクセシブル・ツーリズム・センター (理事長：木島英登)」に、日本へUD視察をしたいと問い合わせたところ、木島理事長より当賛助会員を經由して今回の運びとなる。

<http://www.japan-accessible.com/>

両氏は初めての来日だが、日本のUDの現状を理解する。

日本は世界的にUD先進国で、IAUDをよく知っていて本国でも有名だとか。過去にはバルセロナも視察している。

UD 情報連携に合意

各々の自己紹介のあと、西村よりIAUDの概要説明、また取り組み事例としては移動空間PJの和田氏が「静岡駅を対象とした移動情報の調査研究」について、また君塚氏が「48時間デザインマラソン2009」について紹介した。

ノルウェーからは、Nesheim氏より「障害者の持つ問題点と高速船他UD開発事例」について、Hellevang氏より「2025年までのUD達成目



標と技術革新」について説明があった。その後、質疑応答が行われた。

最後に、今後も UD 情報等連携することに合意した。

まずは「UD2012 オスロ」の報告書が完成次第、送っていただくとのこと。(情報交流センターで内容を整理し会員に報告予定)

通訳(ボランティアの高木氏)を介したためか、時間が足りなく感じたが、大変有意義であった。

今後、規模を大きくした本格的なイベント企画も考えられそう。(了)

IAUD 2012年8月の予定

3日(金) 14時半～メディアのUDPJ定例会 (IAUD サロン)

7日(火) 13時～ 住空間PJ仮設住宅勉強会及び定例会 (住友林業㈱)

20日(月) 14時～ 労働環境PJ定例会 (未定)

24日(金) 13時半～余暇のUDPJ定例会 (IAUD サロン)

28日(火) 15時～ 実行委員会会合 (IAUD サロン)

30日(木) 14時半～食のUDPJ定例会 (IAUD サロン)

31日(金) 12時～ 標準化研究WG定例会 (IAUD サロン)

■メンバー募集中の研究部会・委員会はこちら↓

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1204/17-134308.php>

■夏季休暇のお知らせ

事務局：8月13日(月)～15日(水)

IAUD サロン：8月13日(月)～17日(金)

次号は8月中旬発行予定

特集：川原啓嗣専務理事の香港講演報告(予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話：03-5541-5846 FAX：03-5541-5847 e-mail：salon@iaud.net